

オレンジリボン運動

平成 24 年 10 月 9 日 (火)



中部遊商はこの度、『子ども虐待防止オレンジリボン運動』という子ども虐待防止を呼びかける市民運動に賛同し組合員へオレンジリボンピンバッジを配布しました。

オレンジリボン運動の趣旨

オレンジリボン運動は「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。オレンジリボンは、そのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。

子ども虐待の防止は、児童相談所や市町村などの公的機関だけ行えるものではありません。わたしたち一人一人が「子育てにやさしい社会」を作ることが、子ども虐待の防止につながります。子ども虐待防止の活動には、さまざまなものがあります。この運動では、子ども虐待防止に賛同される方が、それぞれ胸にオレンジリボンを着けることで、子ども虐待防止の活動に参加していただけるのです。オレンジリボンは子育てを暖かく見守り、子育てをお手伝いする意志のあることを示すマークなのです。



オレンジリボンマークの由来

このオレンジの色は里親家庭で育った子どもたちが「子どもたちの明るい未来を示す色」として選んだそうです。オレンジリボンが、たくさんの皆様の心に届きますよう、オレンジリボンが子どもたち、そして子育て中の親子の心を包みこみますよう、「子ども虐待防止オレンジリボン運動」にぜひご協力をお願いいたします。



胸に着けることが活動参加の意思表示です



皆様もぜひ参加してくださいね。